



神を仰ぎ 人に仕う

Chapel News

2019年4月

No.1

「危機はまた機会でもある」

多くの新入生・編入生と共に新年度を歩み出すことができ、大変嬉しく思います。おそらく、新入生・編入生の皆さんは、大きな希望と共に不安を覚えながらの出発ではないでしょうか。初めての環境、初めての出会い、初めての授業等々、慣れるまでにいろいろな不安があるかと思えます。しかし、徐々に生活に慣れるに従って、そうした不安も減っていくと思えます。おそらく、5月の連休明けぐらいになりますと、生活もだいぶ落ち着くのではないのでしょうか。

ところで、不安というものは、何か新しい事を始めようとするとき、必ず伴うものだと思います。しかし、いろいろな不安を覚えるからこそ、また一層十分な準備をするということにもなるのではないのでしょうか。そして、そうした十分な準備をしたからこそ、成功が得られるということも多いのではないのでしょうか。そうしたことを思えば、不安というものも、無ければいいと思いがちですが、必ずしもそうとも言えないかもしれません。対応の仕方に応じては、むしろ必要とも言えるのではないのでしょうか。

アメリカで黒人の地位向上のために活躍したマーティン・ルーサー・キング牧師のことは、皆さんもご存知だと思います。今年は、キング牧師の生誕90周年の年です(去年はキング牧師暗殺から50年目の節目の年でした)。キング牧師は、公民権運動の厳しい闘いの中で、しばしば「危機はまた機会でもある」と語っています。多くの失敗や試行錯誤を重ねながら、その運動を進める中で、危機は危機で終わるものではなく、むしろ機会(チャンス)ともなるとの確信を深めたのです。そして、危機をチャンスとして生かす中で、最終的には公民権を勝ち取るという勝利を手にしたのです。

不安というのも一つの危機です。しかし、それに前向きに対応しながら、それをチャンスとして生かしていくことができるならば、それは成長への大きなステップともなると思います。これから始まる大学生活においてもいろいろと危機があるかもしれません。しかし、それはまた成長のチャンスでもあります。そのことを心に覚えながら、チャレンジ精神を持って、共に前に向かって歩んでいきましょう。

(キリスト教センター所長・政治経済学部チャプレン 菊地 順)

2019年度年間聖句

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

ローマの信徒への手紙 12章 12節

4月月間聖句

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

マタイによる福音書 7章 7節

行事・集会のご案内

- イースター礼拝 日時/4月18日(木)14時40分~15時10分 場所/チャペル
イースターとは十字架におかかりになった主イエス・キリストが、3日目に復活されたことを記念する祝祭です。どうぞ全学礼拝にいらしてください。

聖学院教会祈禱会

毎週木曜日 18時40分~19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。
どなたでも自由にご参加ください。

- ・4月11日(木) レビ記 21~22章 東野 ひかり牧師
- ・4月18日(木) 受難週洗足木曜日聖餐礼拝 於 チャペル



全学礼拝期間について

2019年度春学期の全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日、14時40分から15時10分です。どなたでも自由にご参加ください。
春学期/4月10日(水)~7月24日(水)

主の祈り

天にましますわれらの父よ
 ねがわくはみ名をあげめさせたまえ
 み国をきたらせたまえ
 みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ
 我らの日用の糧を今日も与えたまえ
 我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
 我らの罪をもゆるしたまえ
 我らをこころみにあわせず
 悪より救い出されたまえ
 国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり



アーメン

4月10日(水)

奨励者 柳田 洋夫
(大学・人文学部チャプレン)
司会者 五十嵐 成見
奏楽者 今村 優子
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 312 番 1、2 節
聖 書 エレミヤ書
29 章 11 節(旧約 P.1230)
祈 禱
奨 励 「希望を持つ勇氣」
祈 禱
讃美歌 312 番 3 節
主の祈り
後 奏

4月11日(木)

奨励者 五十嵐 成見
(心理福祉学部兼人間福祉学部
チャプレン)
司会者 菊地 順
奏楽者 今村 優子
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 354 番 1、2 節
聖 書 マルコによる福音書
2 章 1~12 節(新約 P.63)
祈 禱
奨 励 「聖学院大学のいいところ」
祈 禱
讃美歌 354 番 3、4 節
主の祈り
後 奏

4月16日(火)

奨励者 久保 哲哉
(キリスト教センター主事)
司会者 五十嵐 成見
奏楽者 渡辺 善忠
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 21-456 番 1、2 節
聖 書 ヨハネによる福音書
6 章 31~35 節(新約 P.175)
祈 禱
奨 励 「『命のパン』を食べよう」
祈 禱
讃美歌 21-456 番 3、4 節
主の祈り
後 奏

4月17日(水)

奨励者 清水 正之
(理事長・学長)
司会者 柳田 洋夫
奏楽者 今村 優子
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 291 番 1 節
聖 書 ローマの信徒への手紙
11 章 1~7 節(新約 P.289)
祈 禱
奨 励 「新しい生命を生きる」
祈 禱
讃美歌 291 番 2 節
主の祈り
後 奏

4月12日(金)

奨励者 菊地 順
(キリスト教センター所長、
政治経済学部チャプレン)
司会者 久保 哲哉
奏楽者 清水 貴子
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 452 番、1、2 節
聖 書 マタイによる福音書
10 章 16 節(新約 P.18)
祈 禱
奨 励 「賢さと素直さ」
祈 禱
讃美歌 452 番 3 節
主の祈り
後 奏

イースターのシンボル

イースター・エッグ

イースターにはイエス様の
復活・新しい命を意味する
イースター・エッグを配ったり、
エッグ・ハントをする習慣があります。
うさぎは、春になると穴から出てのび
のびと跳ね回ります。そのように死の深
い淵・死の闇といった穴からのちへと
躍動する喜びの象徴として、しばしば
うさぎが用いられます。
パンと魚の図形は、復活のイエス・キ
リストがガリラヤ湖畔に現れ、弟子たち
とともに食事をされたことを示し、イエス
様が約束してくださった永遠の命と復
活の主との交わりを意味します。



4月18日(木)

— イースター礼拝 —
奨励者 山口 博
(聖学院院長、女子聖学院中高校長)
司会者 菊地 順
奏楽者 相川 徳孝
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 154 番 1、2 節
聖 書 ルカによる福音書
24 章 1~12 節(新約 P.159)
祈 禱
聖歌隊による讃美奉獻
「Come, ye faithful」 R.S.Thatcher
奨 励 「人生、墓で終わりですか」
祈 禱
讃美歌 154 番 3 節
主の祈り
後 奏

4月19日(金)

奨励者 東野 尚志
(聖学院教会牧師、聖学院みどり幼稚園
チャプレン、本学講師)
司会者 久保 哲哉
奏楽者 清水 貴子
◆ ◆ ◆
前 奏
讃美歌 187 番 1 節
聖 書 ヨハネの手紙 —
3 章 16~18 節(新約 P.444)
祈 禱
奨 励 「新しい出会い」
祈 禱
讃美歌 187 番 2 節
主の祈り
後 奏